

2021年助成金給付認定一覧

助成区分	申請者および研究機関・代表者	担当者	テーマ	講評・コメント
研究助成	東洋大学 ライフデザイン学研究所人間環境デザイン専攻 櫻井義夫研究室 教授 櫻井 義夫	教授 櫻井 義夫	アドルフ・ロースの空間展示リアルとアンリアルな表現による空間体験方法の研究	基礎的な建築空間研究の成果をVRにより、わかりやすく展示し、空間疑似体験データとしての構築をめざす研究で、過去の研究実績を活かしたVRディスプレイ手法の普及への展開が期待される。
研究助成	大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 空間デザイン学科・建築計画研究室 准教授 朽木 順綱	准教授 朽木 順綱	多視点による共有が可能な客観型 VR/AR ディスプレイの設計と設置	非接触型の VR/AR 表示を多視点で共有するインタラクティブシステムをめざす研究開発を含む展示計画であり、情報工学的かつ建築工学的技術展開と共通プラットフォームの構築による VR/AR 表示の普及が期待される。
研究助成	北海道大学 高等教育推進機構科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) ソーシャルデザイン実習 特任講師 朴 炫貞	特任講師 朴 炫貞	アノオンシツのディスプレイを通じた新たな科学技術コミュニケーションの場づくり	歴史的建築物である旧温室をアートとサイエンスの交わる「時空間の体験」に活用する試みであり、アーティストとの協働やお茶会による地域との交流など、ディスプレイをきっかけにした幅広いコミュニケーションの場づくりが期待される。
研究助成	東京藝術大学 大学院美術研究科建築専攻 環境設計第一研究室 青木淳研究室 教授/建築家 青木 淳	教育研究助手 笹田侑志	テランポリーなりノバージョンとしての展覧会	商業施設におけるモノの移動、付加、撤去など、すなわちディスプレイの改変が、生活や文化を豊かにすることにつながるというコンセプトを実証する試みであり、人、物、情報のインタラクティブなコミュニケーションによる空間活性化が期待される。
教育普及活動助成	富山市科学博物館 館長 水高 清志	学芸員 吉岡 翼	没入型映像によるインタラクティブな空間演出と科学コミュニケーション活動への適用	ドーム空間において、天文領域以外も含めた体験型映像によるインタラクティブなプログラムの実践研究であり、利用が限定されがちなプラネタリウムなど地域施設の活性化につながるプログラム開発が期待される。